



日本

2008年は、ライフサイエンスの分野は、景気後退の影響をほとんど受けず、安定した動きが見られました。

製薬業界では、多くの企業がアジアでのマーケット拡大を目論見、その中でも特に中国とインドのシェア拡大に力を注いでいます。もちろん日本市場も対象となっておりますが、中国、インド、シンガポールにおいては、さらなる拡大が期待されます。

求人ニーズは、会社規模及び、既に抱えている人材層の種類により状況が異なりますが、薬事規制関連、品質保証、治験リーダー、プロジェクト・マネージャーなどのニーズは慢性的に存在します。販促サイドでは、新規開拓マネージャー、セールス、プロダクト・マーケティング・マネージャーのニーズが高い傾向にあります。優秀な人材の慢性的な不足と、候補者のスキル不足が、採用プロセスを困難な状況にしております。このような状況下では、採用プロセスを早める企業が、よりいい人材を確保することができます。

製薬業界は一般的に給与水準が高い傾向にありますが、その中でも特殊スキルを持つ候補者は、特にその傾向が強いようです。極端に候補者が不足している職種に関しては、採用企業は、相当額を支払う必要があります。特に、治験、QA、薬事法関連の分野で人材を確保するためには最高30～40%の給与アップを行わなければなりません。

ライフサイエンス業界は、一般的に人事プロセスに対し保守的な企業が多いのですが、人材採用、流出防止策に関しては、積極的な姿勢を見せる企業が増えてきております。過去、業界内での人材獲得合戦は激しいものではありませんでしたが、今後は激しくなると予想されます。福利厚生制度の充実、ワークライフ・バランス制度の導入、キャリアパス制度導入などが、今後の課題となると考えられます。

優秀な人材を確保する為に採用企業は、キャリアパス制度導入、コーチング、社外トレーニング、海外勤務制度導入などを検討する必要があります。また、パートタイム、在宅勤務制度などのフレックス勤務制を導入なども挙げられます。ある企業では海外研修制度を導入して、海外のオフィスで3～6ヶ月勤務するなどのプログラムを実施しています。

転職者は、給与やジョブ・タイトルだけでなく、会社の情報を入念に調べ、3～5年のキャリアパスをも考慮しなければなりません。また、会社の評判、新製品開発などに目をとらし、自身のスキルを向上できるかを見極める必要があります。

コマーシャル	カントリー・マネージャー	セールス・ディレクター	MR	アカウント・マネージャー	エリア・セールス・マネージャー
日本					
平均給与 給与幅	2500万 2000～4000万	2500万 1500～3000万	800万 600～1200万	1200万 800～1500万	1600万 1200～1800万

コマーシャル	プロダクト・マネージャー	マーケティング・マネージャー	マーケティング・アソシエイト	ビジネス・ディベロプメント
日本				
平均給与 給与幅	1400万 1000～1700万	1600万 1400～2200万	1000万 700～1200万	1300万 1000～1600万

クリニカル	リサーチ & ディベロップメント・ディレクター	薬事監査部長	薬事監査課長	品質保証マネージャー	GCP マネージャー (GCP/医薬品の臨床試験の実施の基準)
日本					
平均給与 給与幅	2500万 1800～3000万	2500万 1600～2200万	1200万 800～1400万	1000万 800～1200万	1400万 1000～1600万

クリニカル	GMP マネージャー (GMP/適正製造基準)	プロジェクト・リーダー	クリニカル・リサーチ・アソシエイト	データ・マネージャー	バイオ・スタティスティクス・マネージャー
日本					
平均給与 給与幅	1400万 1000～1600万	1400万 1200～1600万	1000万 800～1200万	1100万 1000～1200万	800万 700～1000万

クリニカル	薬事監査スタッフ	インフォメーション・サービス・スペシャリスト	ドラッグ・セーフティ・マネージャー	ドラッグ・セーフティ・シニア・スペシャリスト
日本				
平均給与 給与幅	900万 700～1000万	900万 700～1000万	1200万 1000～1500万	900万 800～1100万

* 給与額は、年収および現地通貨をあらわします

* 給与額はパッケージ総額をあらわしますが、年間のボーナスは含まれません